

平成28年度教科指導計画（地理・歴史）

学番43 新潟県立三条東高等学校

1 年間学習の概容

教科（科目）	地理・歴史（地理B）	履修学年・コース	2学年・文系	科目の性質（単位数）	選択必修（4単位）
使用教科書	『新詳地理B』（帝国書院）			副教材	最新地理図表ゲオ（第一学習社）

学習の到達目標	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて致死的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
---------	--

評価の観点			
a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用 of 技能	d. 知識・理解
現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意識的に追究する。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性を踏まえて多面的・多角的に考察する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択・活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。

2 年間指導計画

学期	月	学習項目	学習の目標および内容	評価方法
1	4	第I部 1章 地理情報と地図	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界の地図について、さまざまな時代や種類の地図の読図などの活動を通して、各時代の人々の世界観を捉え、現代の地図や身近な地図の有用性に気づく。</li> <li>地図の種類とその利用について、球体としての地球の特徴を捉え、球体を地図に表現した場合の特性や、時差の求め方を通して、現代世界の地理的事象を捉える地理的技能を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>各種提出物</li> <li>定期考査</li> </ul>
		2章 地図の活用と地域調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図の活用と地域調査について、直接的に調査できる地域を地形図などの地図を活用して多面的・多角的に調査し、生活圏の地域的特色を捉える地理的技能を身につける。</li> </ul>	
		第II部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 1節 世界の地形	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の地形について、営力的な視点で分類し、大地形、小地形、その他の地形の分布や成因を考察するとともに、災害と恩恵など人間生活との関わりを考察する。</li> </ul>	
	5	2節 世界の気候	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の気候について、気候要素と気候因子の関係から、その成り立ちを考察し、それぞれの気候区の特徴と農業など人間生活への影響を考察する。</li> </ul>	

学期	月	学習項目	学習の目標および内容	評価方法
1	5	2節 世界の気候	・世界の気候について、気候要素と気候因子の関係から、その成り立ちを考察し、それぞれの気候区の特徴と農業など人間生活への影響を考察する。	
		3節 日本の自然の特徴と人々の生活	・日本の自然の特徴と人々の生活について、地形や気候の特徴と、これによる自然災害の特徴を理解するとともに、防災のあり方を考察する。	
		4節 環境問題	・環境問題について、世界の環境問題の成因や特徴と対策、地域的な分布を大観し、さまざまな環境問題のうちから地球温暖化、森林破壊、砂漠化について、事例を考察する。日本の環境問題の特徴と対策について考察する。	
		2章 資源と産業		
	6	1節 産業の発達と変化	・産業の発達と変化について、自然環境との関わりやグローバル化の視点から考察する。	
		2節 世界の農林水産業	・世界の農林水産業について、農業地域区分や、現代世界の農林水産業の現状と課題、及び世界のなかでの日本の農林水産業の課題を考察する。	
		3節 食料問題	・食料問題について、世界の食料需給の地域的ななかたよりを大観し、発展途上国、先進国、日本についての事例を考察する。	
	7	4節 世界のエネルギー・鉱産資源	・世界のエネルギー・鉱産資源について、エネルギー資源の利用と分布、鉱産資源の分布を考察する。	
		5節 資源・エネルギー問題	・資源・エネルギー問題について、現代世界の資源・エネルギー問題を大観し、世界の資源をめぐる問題、エネルギー生産や消費の抱える課題、日本の資源・エネルギー問題を考察する。	
	2	9	6節 世界の工業	
7節 第3次産業			・第3次産業について、現代世界の第3次産業の発展と、世界と日本の観光業の特色を考察する。	
8節 世界を結ぶ交通・通信			・世界を結ぶ交通・通信について、交通や通信の発達による一体化と地域差を考察する。	
9節 現代世界の貿易と経済圏			・現代世界の貿易と経済圏について、世界貿易や経済圏の現状と課題や、世界のなかでの日本の貿易や経済の現状と課題を考察する。	
10		3章 人口、村落・都市		
	1節 世界の人口	・世界の人口について、世界人口の分布の特色や動態、人口構成や人口転換を考察する		

学期	月	学習項目	学習の目標および内容	評価方法	
2	1 1	2節 人口問題	・人口問題について、世界の人口問題を大観し、発展途上国、先進国、日本の人口問題の事例を考察する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認小テスト</li> <li>・授業態度</li> <li>・各種提出物</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
		3節 村落と都市	・村落と都市について、村落・都市の立地や発達・機能や、日本の都市の特徴を考察する。		
		4節 都市・居住問題	・都市・居住問題について、世界の都市・居住問題を大観し、要因と発生のしくみを、発展途上国、先進国、日本の事例概観するとともに、都市・居住問題の解決には何が必要かを考察する		
		4章 生活文化、民族・宗教	・生活文化について、衣食住を取りあげ、それらの分布や地域的差異と世界的な画一化について考察する。		
		1節 生活文化			
		2節 民族と宗教	・民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活との関わりについて考察する。		
		3節 現代世界の国家	現代世界の国家について、国境と領域のきまりやさまざまな国家の分類について考察する。		
		4節 民族・領土問題	・現代世界の国家について、国境と領域のきまりやさまざまな民族・領土問題について、現代世界の民族・領土問題を大観し、日本の民族や領土、世界各地の民族の共生について家の分類について考察する。		
		1 2	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察		
			1章 現代世界の地域区分		
	1節 地域区分とは何か		・地域区分とは何かについて、地域概念や地域区分の目的、意義を理解し、有用性に気づく。		
	2章 現代世界の諸地域				
			1節 地誌的考察方法	・地誌的に考察する方法として、多様な事象を項目ごとに整理して考察する方法、特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて考察する方法、対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法があることを理解する。	
			2節 東アジア	・東アジアについて、形式的な地域区分に基づき、地形と気候、中国の民族と人口、食生活と農業、工業化と経済発展、中国の動向と日本、朝鮮半島の成り立ち、韓国の産業、隣国との交流という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。	
		3節 東南アジア	東南アジアについて、形式的な地域区分に基づき、自然、歴史と文化・民族、農業と変化、ASEANと工業、ASEAN諸国の変化と諸課題という多様な事象を項目ごとに整理して考察する。		
		4節 南アジア	・南アジアについて、形式的な地域区分に基づき、地形と気候、歩みとヒンドゥー教、インドの農業と農村、工業・IT産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。		

学期	月	学習項目	学習の目標および内容	評価方法
3	1	5節 西アジアと中央アジア	<p>・西アジアと中央アジアについて、乾燥帯が広がる自然環境に着目した地域区分に基づき、自然、イスラームの生活文化、交易と都市、資源と産業の面において、類似的な性格の二つの地域を比較して考察する。</p> <p>・北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、中近東文化と中</p>	<p>確認小テスト</p> <p>・授業態度</p> <p>・各種提出物</p> <p>・定期考査</p>
		6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ	<p>南アフリカ文化という文化に着目した地域区分に基づき、気候と植生、歴史的背景と文化、一次産品への依存、生活の変化と他地域との結びつきの面において、対照的な性格の二つの地域を比較して考察する。</p>	
		7節 ヨーロッパ	<p>・ヨーロッパについて、形式的な地域区分に基づき、気候と大地、ヨーロッパの成り立ち、域内の結びつき、農業と共通農業政策、移り変わる工業、これからのヨーロッパという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。</p>	
		8節 ロシア	<p>・ロシアについて、亜寒帯が広がる自然環境に着目した地域区分に基づき、歴史と社会の変化、変化した産業、極東ロシアと日本の結びつきという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。</p>	
		9節 アングロアメリカ	<p>・アングロアメリカについて、ゲルマン文化という文化に着目した地域区分に基づき、自然環境、アメリカ合衆国の移民国家としての発展、人口と都市、農業、科学技術と産業、世界のなかのアメリカ合衆国、アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。</p>	
	2	10節 ラテンアメリカ	<p>・ラテンアメリカについて、ローマン文化という文化に着目した地域区分に基づき、自然環境、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化という特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動的に考察する。</p>	
		11節 オセアニア	<p>・オセアニアについて、形式的な地域区分に基づき、一つの大陸と太平洋の島々、移民の歴史と多文化社会、強まるアジアとの結びつき、アジア諸国に輸出される農畜産物という特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動的に考察する。</p>	
		3章 現代世界と日本	<p>・現代世界における日本の特色について、多面的・多角的に考察し、日本が抱える地理的な諸課題を探究する活動を通して、その解決の方向性や将来の国土のあり方などについて展望する。</p>	